HEROES

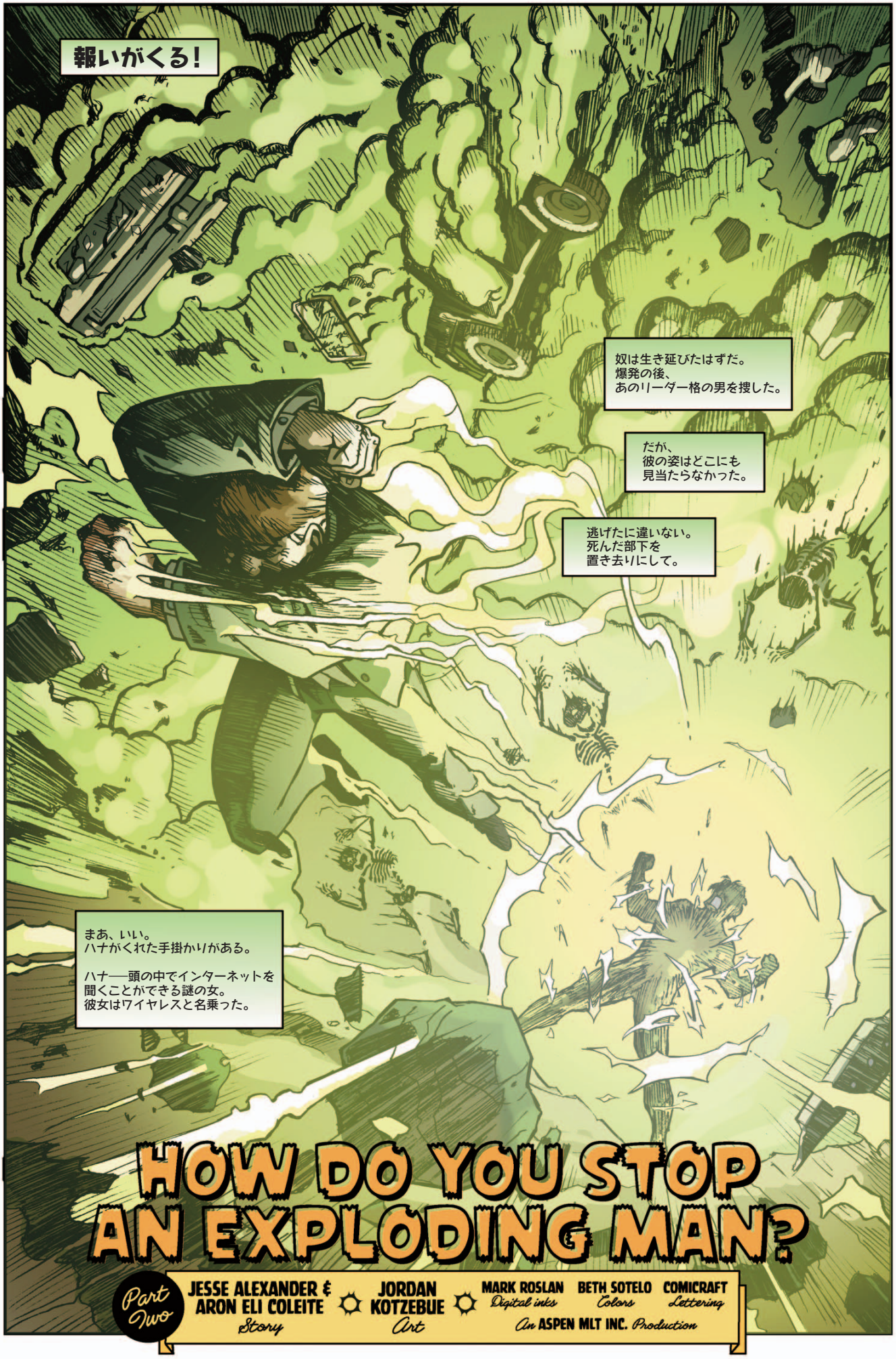
CHAPTER 18

爆発阻止 Part 2

テッド・スプレーグの人生は、大きな音を立てて崩れ落ちた。家族、仕事、家、全てが消えた。
いったいなぜ自分には放射能があるのか?
すべてを失った彼にただ一つ残ったのはこの呪わしい疑問だけだった。
ただし、それを見つける前に、答えを持っている側の人間が先に彼を見つけてしまった…

ニューメキシコ州の砂漠
俺はテッド・スプレーグ。体から１万キュリーの放射能を放出できる。
俺は、"核地獄"を引き起こすこの力を与えた男たちを追っていた。…しかし、たった今、見つかってしまった。
いったい何が狙いだ？
君を楽にしてやろうと、ここに来たんだ。
…その自信はどこからくる？
俺はお前たちを地上から消すことができる！
かけろ！
…動けない！どんどん濃くなって固まっていく…こ、これは…！？

液状コンクリートだ。ロシアのチェルノブイリで使われたものと同じだ。
何者だ？
テッド、落ち着け。悪夢はこれで終わる。
連れて行け。
こいつらに勝たせるわけにはいかない、償いをさせるまでは。
こんなので終わってたまるか！…邪悪な行為には…


報いがくる!
奴は生き延びたはずだ。
爆発の後、
あのリーダー格の男を捜した。
だが、
彼の姿はどこにも
見当たらなかった。
逃げたに違いない。
死んだ部下を
置き去りにして。
まあ、いい。
ハナがくれた手掛かりがある。
ハナ──頭の中でインターネットを
聞くことができる謎の女。
彼女はワイヤレスと名乗った。
HOW DO YOU STOP AN EXPLODING MAN?
Part Two
JESSE ALEXANDER & ARON ELI COLEITE
Story
JORDAN KOTZEBUE
Art
MARK ROSLAN
Digital inks
BETH SOTELO
Colors
COMICRAFT
Lettering
An ASPEN MLT INC. Production

2日後
モンタナ州ビリングス
ワイヤレスの首にも
俺と同じあの針の跡があった。
Pharmatech Industrial Building
彼女がくれた"2本針"皮下注射銃の設計図。
それはこの建物の中で作られている。
俺は週末になるまで待った。
その方が人が少なくなるだろう。
少ないに越したことはない。
万が一の場合にも…
EXIT
あの男は誰だ？
女房はいるのか？家族は？
このまま立ち去るべきか？
いや、あの男も一味か？
頭は"答え"を求めるが、
心が欲してるのは…
…復讐…

俺は注射銃の用途を問いただした。
俺を変えるために、俺を"異常"にするために使ったのか？
…男の答えは
想像を超える内容だった。
それは野生動物の研究者が
使うものだった。
動物を鎮静させ、
皮下注射銃を使って特殊な
アイソトープを注射する。
このアイソトープは
遠く離れていても感知可能。
研究者は動物がどこに行こうと
追跡することができる。
俺はそんなモノになってしまったのか？
俺は追跡、研究される"動物"なのか？
…まだ逃げることはできるが
…もう隠れては
いられない。
To Be CONTINUED...